

議会から こんにちは

2022 **11.1**
令和4年



10月2日から10日にかけて佐野市で開催された、いちご一会とちぎ国体のラグビーフットボール競技とバレーボール競技の様子です。

全国から集まった選手たちが、熱戦を繰り広げていました。



臨時会

■令和4年8月3日に臨時会を開催

令和4年9月定例会

- 令和3年度決算を認定
- 決算審査特別委員会で延べ35人が質疑
- 一般質問に20人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/



佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索

一般会計決算、特別会計決算、企業会計決算を認定

決算審査特別委員会 (パソコン・スマートフォンなどで録画画像をご覧になれます)



委員長
菅原 達



副委員長
菅原 政夫

9月定例会には、令和3年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月16日、20日、21日、22日の4日間にわたり審査を行いました。

特別委員会では、一般会計決算に19名、特別会計決算及び企業会計決算に16名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全7件の決算議案を認定しました。(議決結果は3ページをご覧ください。)

佐野市議会 議会中継
(令和4年)

令和4年第5回(9月)定例会・常任委員会・
決算審査特別委員会」からご覧ください。



決算審査特別委員会の様子 (写真左: 執行部側、写真右: 委員の質疑)

令和3年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

(1万円未満四捨五入)

区 分		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一 般 会 計		622億6,000万円	598億1,214万円	563億9,423万円	34億1,791万円
特 別 会 計	国民健康保険事業(事業勘定)	123億6,615万円	123億 747万円	119億4,285万円	3億6,462万円
	国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	2億8,502万円	2億3,691万円	2億3,691万円	0円
	介護保険事業(保険事業勘定)	116億4,937万円	116億8,760万円	113億8,762万円	2億9,998万円
	後 期 高 齢 者 医 療	14億5,984万円	14億3,500万円	14億3,159万円	341万円
	小 計	257億6,038万円	256億6,698万円	249億9,897万円	6億6,801万円
合 計		880億2,038万円	854億7,912万円	813億9,320万円	40億8,592万円

(注) 各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●企業会計

(1万円未満四捨五入)

区 分		水道事業会計		下水道事業会計	
		予算額	決算額	予算額	決算額
収 益 的 収 支	収 入	23億3,130万円	23億3,905万円	46億2,997万円	48億1,083万円
	支 出	21億2,998万円	20億3,330万円	42億5,901万円	39億7,203万円
資 本 的 収 支	収 入	10億8,187万円	6億9,825万円	23億6,950万円	19億9,169万円
	支 出	22億4,624万円	15億6,455万円	37億8,844万円	34億3,319万円

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件 名	議決結果	
一般会計			
議案第58号	令和3年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
特別会計			
議案第59号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第60号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第61号	令和3年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第62号	令和3年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
企業会計			
議案第63号	令和3年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員
議案第64号	令和3年度佐野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件 名	賛成	反対	議員名 [議席番号順]																								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
				長 浜 成 仁	穂 原 政 夫	神 宮 次 秀 樹	小 森 隆 一	澤 田 裕 之	早 川 貴 光	小 倉 健 一	金 子 保 利	慶 野 常 夫	川 嶋 嘉 一	菅 原 達 雄	木 村 久 雄	横 田 誠 之	横 井 帝 之	久 保 貴 洋	鈴木 靖 宏	滝 田 洋 子	鶴 見 義 明	小 暮 博 志	山 菅 直 己	春 山 敏 明	田 所 良 夫	飯 田 昌 弘	高 橋 功	
議案第58号	令和3年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長	○	○	○	○
議案第59号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長	○	○	○	○
議案第61号	令和3年度佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長	○	○	○	○
議案第62号	令和3年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対

※山菅直己議長は採決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

○ 一般会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	澤 田 裕 之	11	慶 野 常 夫
2	久 保 貴 洋	12	小 暮 博 志
3	鶴 見 義 明	13	鈴木 靖 宏
4	高 橋 功	14	金 子 保 利
5	小 森 隆 一	15	春 山 敏 明
6	横 井 帝 之	16	長 浜 成 仁
7	早 川 貴 光	17	田 所 良 夫
8	小 倉 健 一	18	木 村 久 雄
9	神宮次 秀 樹	19	滝 田 洋 子
10	飯 田 昌 弘		

※山菅直己議員は議長のため、横田誠議員は副議長のため、菅原達議員は決算審査特別委員会委員長のため、穂原政夫議員は決算審査特別委員会副委員長のため、川嶋嘉一議員は議員選出の監査委員のため、質疑を控えました。

○ 特別会計及び企業会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	久 保 貴 洋	9	春 山 敏 明
2	鶴 見 義 明	10	長 浜 成 仁
3	鈴木 靖 宏	11	金 子 保 利
4	早 川 貴 光	12	田 所 良 夫
5	澤 田 裕 之	13	飯 田 昌 弘
6	小 倉 健 一	14	神宮次 秀 樹
7	滝 田 洋 子	15	小 暮 博 志
8	木 村 久 雄	16	小 森 隆 一

令和3年度

決算審査要望書

(持続可能な消防・救急体制)



- 1 近年、大きな地震や風水害などが相次ぐ中、消防指令システム及び消防〇Ａシステムに多様な新しいアイデアを取り入れ、最先端のＩＣＴを活用した先進的な高機能消防指令システムの充実が求められている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全国的に医療機関がひっ迫し、救急搬送の困難事案が多発するなど、消防・救急体制に影響が生じたことを踏まえ、各種資機材の充実や職員を効率的に配置するなど、持続可能な消防・救急体制を確保するよう努められたい。

(安定的な行政運営の推進)



- 2 本市の持続可能性を高めるため、ウクライナ情勢の長期化や新型コロナウイルス感染症の動向に注視し、国内外の社会経済の状況に合わせた対策を講じつつ、人口減少の克服に向けた取組を加速させる必要がある。

そこで、安定的な行財政運営を堅持するために、PPP/PFIによる民間資金や民間活力の活用によって、市有施設の維持・更新を推進するとともに、地域団体との協働によるSDGsの推進や官民連携によるスマートシティの推進に努められたい。

また、ふるさと納税などの税外収入の確保のみならず、本市の関係人口を増やすなど、移住・定住に資する取組を力強く推進されたい。

(健康と環境問題)



- 3 地球温暖化による気温の上昇で細菌類の繁殖もあり、人の健康に大きく影響することが懸念されることから、温暖化を抑制することは、市民の健康を守ることに通じるため、温室効果ガスの削減に努められたい。

また、地球温暖化による暑さは、人間の健康維持において、栄養状態、衛生状態などが悪化し、感染症へのリスクが増大することから、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中ではあるが、冬季に流行するインフルエンザの対策も踏まえ、更なる感染症対策を図られたい。

(給付型奨学金の創設)



- 4 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、企業活動も先が見通せず、家庭の収入も厳しい状況が続いていることから、子どもたちの未来に支障がない奨学金制度として、将来に負担を残さない給付型の奨学金の創設が急務である。企業の倒産などにより、急に支援が必要になるケースにも備え、各年代に必要な支援策を検討し、子どもたちが進学を諦めないための佐野市としていただきたい。

(企業誘致の具体的政策の確立)



- 5 現在、出流原P A周辺及び国道50号沿線(西側エリア)の開発が示され、新たな産業団地の造成に進もうと取り組んでいる。交通の要衝である立地を最大限活かせるように、具体的にどのような企業を誘致するか検討し、企業誘致の政策を展開する必要がある。そのためには、雇用の創出、賃金の上昇が見込める企業誘致を検討することが求められる。輸送関連企業にとどまらず、設備投資が必要な企業の誘致や本社機能の移転が可能な企業の誘致を優先し、人口増及び税収増を目指した政策の展開を図られたい。

(防災・減災を強化したインフラ整備の推進)



- 6 出流原スマートインターチェンジの開通により佐野インランドポートはもとより、出流原P A周辺開発のインフラ整備が整い、かねてからの構想である出流原P A周辺総合物流開発整備事業の国際防災拠点の創設及び防災関連企業の誘致を加速化し、高質な雇用の創出に向けて取り組んでいただきたい。

また、頻繁する自然災害への対応として、河川内の堆積土砂の除去を強く要望する。そして、河川越水の危険性、橋脚の老朽化等への影響も鑑み、普通河川の維持、点検、補修、整備等の計画的な遂行に努められたい。

(土地区画整理事業の着実な推進)



- 7 駅南公園西土地区画整理事業においては、令和15年度完了に向け、減価補償地区とする課題の検討及び地権者の理解が得られるような物件調査や算定を行い、駅南エリアの開発計画を着実に進められたい。



つるみ よしあき
鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



市民課窓口業務の民間委託について

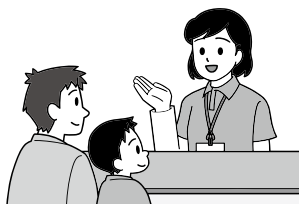
Q 市民課窓口業務は直接市民に関する個人情報を取り扱う部署であり、個人情報保護の観点から、安全性を懸念するところである。県内14市で初めてと言われる市民課窓口業務の民間委託を導入した理由について伺いたい。

A 市長

市民課窓口業務において、民間のノウハウを生かした市民サービスの向上及び業務の効率化を目指し、民間委託を導入することとしました。民間委託をすることで、窓口業務の繁忙期や閑散期に合わせた柔軟な人員配置が可能となり、職員の定期異動による一時的な市民サービスの低下を防ぐことができ、安定した質の高い市民サービスの提供が期待できるものと考えています。

その他の質問

☆教育行政について



しんぐわう じ ひでき
神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



旗川中流域の堆積土砂について

Q 旗川中流域の中でも特に堆積土砂が多いと思われる御神楽橋から三好橋の間の約5キロメートルの部分について、これまで地域住民からの声として、堆積土砂の運び出しの要望を県に対して行ってきたが実施されていない。早期改善のため、市としてどのように対応するのか伺いたい。

A 都市建設部長

管理者である栃木県に問い合わせたところ、令和4年度は室の沢橋の下流側約200メートルの区間において、堆積土砂除却工事を発注済みで、10月頃から施工になると伺っています。今後、適正な河川管理の一環で早期に堆積土砂除去に取り組んでいくことを確認しています。

本市としても、これまでと同様に地元の皆様と一緒に、災害発生

その他の質問

☆渡戸橋復旧工事の現状と周辺整備について
☆堆積土砂の有効活用について
☆アリーナたぬま南側駐車スペースの修繕工事について

の予防及び災害の拡大を防止できるよう、引き続き要望していききたいと考えています。



たどこう よしお
田所 良夫 議員
(新風)



進化する佐野市:選ばれる佐野市について

Q 8月10日の下野新聞の報道によると、「文化庁の有識者会議は、スポーツ庁の有識者会議が6月に公表した運動部の移行スケジュールと同じ2023年度から2025年度の改革集中期間に設定し、自治体に推進計画の策定を求め、将来的に平日の部活も学校から切り離す検討を進める」とあった。これらをどのように感じ、受け止め、対応しようとしているのか伺いたい。

A 教育長

地域への部活動移行は運動部が先行していくようにとらわれがちですが、文化部も含めて推進していきます。教師の長時間労働の要因の一つが部活動指導であると言われ、国の方針や社会情勢等を鑑みたとき、本市としても丁寧かつ迅速に進めていかなければならぬと受け止めています。





横井 帝之
(新風) 議員



しっかりと子どもに力を入れ 出生率・出生数を上げる施策について

Q 実際に兵庫県明石市で取り組んでいる事例で、保護者が選んだ紙おむつや粉ミルクなど1回3,000円相当の赤ちゃん用品を生後3か月から満1歳まで計10回、自宅に届けることを提案するが、当局の見解を伺いたい。

こども福祉部長

A この取組は、子育て世帯の経済的、心理的な負担軽減につながるものと考えられますので、今後、県内だけではなく全国の事例について調査研究するとともに、財源も含め、本市で実施できるかどうか検討していきたいと考えています。



鈴木 靖宏
(蒼生会) 議員



指定管理者制度について

Q 指定管理者の指定は請負契約に当たらないため、※地方自治法第142条(長の兼業禁止)の規定に該当しないことを踏まえた上で、市長は県議時代に佐野市運動公園の運営管理者の株式会社極東体育施設の顧問をしていたという情報があり、指定管理者の指定に疑義が生じたので、その事実関係を確認したい。

市長

A 私が県議時代に株式会社極東体育施設の顧問をしていた事実はありません。

※地方自治法

(長の兼業禁止)

第四百二十二条 普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体に対し請負をする者及びその支配人又は主として同一の行為をする法人(当該普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるものを除く。)の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者、支配人及び清算人たることができない。

その他の質問

☆学校給食について



種原 政夫
(政友みらい) 議員



クビアカツヤカミキリの被害について

Q 一般家庭、神社、お寺などでもクビアカツヤカミキリの被害が目立ってきている。桃農家に行うクビアカツヤカミキリ被害拡大予防対策支援事業と同じく、伐倒、抜根に対する支援の予定はあるのか伺いたい。

市民生活部長

A 一般家庭等における被害木の伐採等にかかる助成ですが、県や近隣市の取組、また本市の被害状況なども踏まえて検討していきたいと考えています。



▲ 特定外来生物
クビアカツヤカミキリ

その他の質問

☆市立学校施設の充実について
☆公共下水道の維持管理について



はるやま
春山

としあき
敏明 議員
(新風)



佐野市スマートセーフシティ構想について

Q 令和3年度のスマートシティに関する市民アンケートでは、インターネット利用の状況が84%、使用機器については、スマートフォンが69%、パソコンが15%という数字が出ている。

本市において、デジタルデバイドを重視し、一人も残さず、共に住みやすい都市を目指すための対策をどのように考えているのか伺いたい。

A 総合政策部長

現在スマートフォン講習の実施を様々な部署で計画しているところです。

10月からの健康増進の実証実験においては、一人でも多くの方に参加いただくために、スマートセーフシティ佐野推進協議会の会員である通信事業者の方と連携して、スマートフォンを使って参加するための事前相談会の開催などの取組も進めていきたいと思えます。

その他の質問

☆佐野西中学校区義務教育学校設置地域

説明会の開催について

☆自治体デジタルトランスフォーメーション

(DX)における進捗状況について



けいの
慶野

つねお
常夫 議員
(政友みらい)



桃・梨の盗難被害について

Q 近年、生産者の方々が日々丹精込められて作られた農産物が盗まれる被害が全国各地で起きており、生産者の皆様にとっては大変深刻な事態である。果樹園農家が行う盗難防止対策についての補助事業があるのか伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

本市及び栃木県では行っていないませんが、本市と佐野農業協同組合等で組織している佐野市園芸振興協議会において支援事業を行っています。これまでに行った事業としては、産地育成事業の一つとして、令和2年度に協議会会員275名に対して「防犯パトロール実施中」ののぼり旗を配布しています。今年度においても、同事業にて防犯用ののぼり旗を配布する準備を進めています。

その他の質問

☆公有地の放置竹林について

☆佐野市指定ごみ袋について



くぼ
久保

たかひろ
貴洋 議員
(倉生会)



閉校となった学校跡地の活用について

Q 令和4年は旧閑馬小学校及び旧飛駒小学校について事業者募集を予定しているということ、年内には事業者の特定、契約まで結びつけていくのかと思うが、今後の具体的なスケジュールについて伺いたい。

A 市長

公募型プロポーザル方式の募集要項の策定後、旧閑馬小学校については事業者募集を10月から開始し、審査委員会での審査を経て、令和5年1月をめどに事業者を選定したいと考えています。また、旧飛駒小学校については若干時期をずらし、旧閑馬小学校と同様に募集を開始したいと考えています。

学校跡地の活用については、市有財産の有効活用はもとより、地域活性化につながる重要な取組となりますので、地域への貢献度が高く、様々な連携が図れる事業者を選定したいと考えています。

その他の質問

☆佐野市ネーミングライツについて





澤田 裕之
（蒼生会）
議員



経済支援について

Q 学校給食費を少しでも助成する考えはあるか。

A 教育部長

昨今の物価高騰により食材費も大幅に値上がりしているため、令和4年度、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費にかかる食材費を、小学校及び義務教育学校前期課程の児童1人につき月額336円（1食当たり約19円）、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒1人につき月額385円（1食当たり約22円）増額し、保護者に負担増を求めることなく学校給食の品質確保を図っています。

現時点では学校給食費の助成については考えていませんが、令和4年度の物価高騰対策について、今後の物価高騰の状況、国の状況等を勘案し、その後、来年度以降の対応についても適切に判断していきたいと考えています。

その他の質問

☆少子化対策について



小倉 健一
（志翔会）
議員



林地保全（伐採届出制度）について

Q 土砂の流出や崩壊が発生しないよう十分な林地保全への配慮が求められる。伐採届出時には伐採及び集材にかかるチェックシートの提出や搬出計画図、誓約書の提出をさせるようにするべきと考えるが、見解を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

令和4年4月に、林野庁により伐採及び伐採後の造林の届出等の制度に関する事務マニュアルが改正され、伐採及び集材にかかるチェックリストや搬出計画書が、必要に応じて届出時に添付を求める書類として例示されました。本市においても、今後皆伐の場合にはチェックリストや搬出計画書の添付をお願いしていきます。

また、誓約書については、令和5年度に改正が進められている森林法施行規則の内容を踏まえながら、適切に対応していきたいと考えています。

その他の質問

☆災害対策について
☆佐野市消防団について
☆クビアカツヤカミキリ被害について



木村 久雄
（公明党議員会）
議員



※アドボケイトについて

Q 必要以上に叱責などをして厳しく育てようとするのは、大人が子どもを管理しやすいするためのものである。弱い立場に立たされ、意見を反映されないこともある子どもの立場だけに立ち、周囲の大人に対し意見を代弁するアドボケイトの養成ができないか伺いたい。

A こども福祉部長

子どもの声を聞き、意見表明を支援するアドボケイトの理念は、子どもの権利を保障する上で大切な役割を担うものと考えています。養成については、現在民間団体で研究が始まった段階であり、本市として講座等を開催する予定はありませんが、アドボケイトの考え方を理解した職員や相談員が、子どもの権利に関する普及啓発活動や児童相談所等の職員との意見交換等を行うことにより、その理念が広まってくものと考えています。

その他の質問

☆環境政策について

※アドボケイトとは・・・

権利主張ができない子どもや障がい者、寝たきりの人などに代わり、その権利を代弁し、擁護する人のこと。



はやかわ
早川 貴光 議員



新型コロナウイルス感染症対策について

Q ワクチン接種について、4回目の接種対象者以外で4回目のワクチン接種を希望する方についてはどのような形で接種ができるようになるのか伺いたい。

A 健康医療部長

4回目接種対象者以外の方の今後のワクチン接種の予定については、現在、国においてオミクロン株に対応したワクチン接種の実施について準備が進められているところです。

本市においては、9月下旬に4回目の接種対象者でまだ接種が済んでいない方から接種を開始し、10月半ばをめどとして、2回目接種が完了した全ての方に対して順次接種ができるよう準備を進めていきます。



たきた
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



クビアカツヤカミキリについて

Q 佐野市は、桃の収穫量、作付面積、出荷量が県内1位で、フルーツラインの名称で知られているが、今後もクビアカツヤカミキリの被害が止まらない状況だと、フルーツラインから桃が消えるのではないかとこの声が果実園経営者から上がっている。果実園に対し、被害に対する支援や指導はどのように行われているか伺いたい。

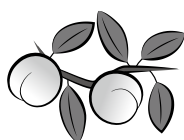
A 産業文化スポーツ部長

桃農家に対するクビアカツヤカミキリ対策の援助として、栃木県と本市共同で実施しているクビアカツヤカミキリ被害拡大予防対策支援事業があり、被害樹伐倒支援事業と、飛散防止ネット購入支援事業となっています。

また、防除や駆除等の指導については、農家からの依頼等があれば、栃木県安足農業振興事務所と連携して対応していきたいと考えています。

その他の質問

☆新型コロナウイルス感染症に伴う支援について
☆蓬山口グビレッジについて



いいた
飯田 昌弘 議員
(倉生会)



教職員の負担軽減と部活動の二部を地域移行することについて

Q 部活動地域移行への行政の関与について伺いたい。

A 教育長

地域に移行していくための課題としては、受け皿となる地域運営団体の確保から始まり、人件費等の予算の確保、地域指導者の確保、活動場所の確保、活動場所への移動手段等、さらに現在の顧問である中学校教職員の関わり方等多岐にわたります。

そこで、課題を解決していくために、本市に新たに、学識経験者、小学校・中学校関係者、PTA関係者、スポーツ・文化の各団体の代表者等をメンバーとした協議会の設置を、年内を目標に考えています。

行政としても、部活動の地域移行はこれからの本市の教育にとっても大変重要な取り組みですので、慎重かつ迅速に進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆建設工事関連の業務委託に関するダンピング対策について





こもり りゅういち
小森 隆一 議員
(公明党議員会)



「子どもの幸せ」最優先の街に

Q 子どもたちの学びの場の確保について、図書館等を利用し、自宅外で学習ができる環境整備をもっと積極的に進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

教育部長

A 現在、ためまふるさと館2階展示室を継続して開放しています。また、新たに佐野駅前交流プラザ「ぱるぽーと」の2階多目的ホールをおおむね午前9時から午後9時半まで開放することを検討しています。公共施設については、各施設の設置条例等に基づいて利用目的や用途の範囲、使用料等の規定がありますので、本来の利用者の活動を妨げない範囲で施設の開放等、学習環境の整備を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆認知症対策について
☆障がい者支援について



すがわら とおる
菅原 達 議員
(公明党議員会)



地球温暖化対策における緩和と適応の取り組みについて

Q 日本一暑い佐野が、暑いというマイナスイメージをプラスに転じ、それを生かしたまちづくりを推進することにより、市民に対する環境への意識啓発と市内外に対する本市の魅力の発信につなげられるものと考えます。

市民や観光客に暑いまちのマイナスイメージから転じたプラスを実感していただくための施策として、緑化の推進や水の活用に加え、公共や民間の施設で気軽にクールシェアができるまちづくりを推進すべきと考えるが、いかがか。

市民生活部長

A クールシェアは国が推奨している温暖化対策の一つであり、カーボンニュートラルの実現に向けたまちづくりであるものと認識しています。クールシェアのまちづくりの推進

について、アクションプランの取組として検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆避難所の体制整備について
☆ハイブリット型授業の推進について
☆公共施設へのWi-Fi環境の整備について



ながはま なるひと
長浜 成仁 議員
(政友みらい)



ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて

Q ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの男性への無料接種や助成制度について、本市の認識を伺いたい。

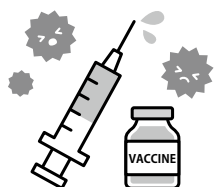
健康医療部長

A ヒトパピローマウイルス4価ワクチンについては、男性において肛門がんや咽頭がん、性感染症の尖圭コンジローマ等を予防する効果があるとされ、令和2年12月に男性への使用も了承されたところです。

厚生労働省では、男性の接種について、安全性に関する確認等を目的に使用成績調査を実施することとなっています。今後の厚生労働省の調査に基づいた動向に注視するとともに、他市の状況などを考慮しながら、総合的に判断したいと考えています。

その他の質問

☆健康増進法の一部を改正する法律の運用について
☆地域公共交通について





こぐれ ひろし
小暮 博志 議員
(政友みらい)



※圃場整備事業に関して

Q 圃場整備完了後は、道路、水路、排水路の適正な管理が求められるが、過疎化、高齢化の進行に伴い、地域住民が担ってきた日常的な管理が難しくなってきた。維持管理として良好な方法があるのか伺いたい。

A 市長

圃場整備事業で整備した道路、水路、排水路のハード面の管理については、本市や土地改良区で行い、日常的な維持管理については地元の農業者の方をお願いすることとなります。地元の農業者が日常的な維持管理を行う上で有効な手段として、多面的機能支払交付金事業があります。

また、農業組織の負担軽減等を目的とした(仮称)佐野市多面的機能支払推進協議会の設立を令和5年度当初に予定しています。

その他の質問

☆佐野市人口ビジョンについて

※圃場とは・・・

水田や畑など、農作物を栽培するための場所のこと。圃場整備は農道などを整備する公共事業のこと。



よこた まこと
横田 誠 議員
(新風)



2040年問題を見据えた取組について

Q 地域包括ケアを進展させるためには、ケア領域における新たな人材が不可欠であり、各地に広がり、脚光を浴びつつあるのが地域おこし協力隊としてのコミュニティナースであると考えます。

地域住民により近い立場で、地域の健康づくりやコミュニティづくりに関わる地域おこし協力隊として、コミュニティナースを採用してはどうかと考えるが、見解を伺いたい。

A 健康医療部長

地域おこし協力隊は、一定期間移住した地域で地域ブランドのPRや、住民生活支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組であるため、貴重な人材です。

今後、コミュニティナースとして地域おこし協力隊を活用できるか研究していきたいと思っています。

その他の質問

☆小規模多機能自治について



令和4年第4回臨時会

審議された議案等と結果

8月3日(水)に第4回臨時会が行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

	件 名【内 容】	議決結果等	
報告第7号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について 【令和4年度の事業計画及び予算並びに令和3年度の決算】	報告	—

	件 名【内 容】	議決結果等	
報告第 8 号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について 【令和 4 年度の事業計画及び予算並びに令和 3 年度の決算】	報告	—
報告第 9 号	株式会社どまんなかためまの経営状況を説明する書類の提出について 【令和 4 年度の事業計画及び予算並びに令和 3 年度の決算】	報告	—
報告第 10 号	市長の専決処分事項の報告について 【令和 4 年 4 月 26 日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第 11 号	市長の専決処分事項の報告について 【令和 4 年 2 月 2 日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第 12 号	市長の専決処分事項の報告について 【令和 4 年 5 月 15 日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第 46 号	令和 4 年度佐野市一般会計補正予算(第 5 号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ 749,519 千円を追加】	原案可決	賛成全員 (欠席 1 名)

※議案第 46 号の表決において、金子保利議員が欠席しました。

令和 4 年第 5 回定例会 (9 月定例会)

▶ 審議された議案等と結果

第 5 回定例会 (9 月定例会) は、9 月 2 日 (金) から 9 月 27 日 (火) までの 26 日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。令和 3 年度決算に係る議案は、3 ページをご覧ください。

	件 名【内 容】	議決結果等	
報告第 13 号	継続費精算報告書の提出について 【葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業】	報告	—
報告第 14 号	令和 3 年度健全化判断比率及び資金不足比率について 【令和 3 年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報告	—
議案第 47 号	人権擁護委員候補者の推薦について 【尾花 おばな 淳美 あつみ 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第 48 号	人権擁護委員候補者の推薦について 【麻生 あそ 芳子 よしこ 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員

	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第49号	人権擁護委員候補者の推薦について 【 ひょうどう いさむ 兵藤 勇氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第50号	佐野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正について 【育児参加のための休暇の対象期間を拡大するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第51号	佐野市職員の育児休業等に関する条例の改正について 【地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第52号	佐野市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について 【職員の特殊勤務手当の種類等を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第53号	佐野市手数料条例の改正について 【長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の改正に伴い建築関係手数料を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第54号	佐野市博物館条例の制定について 【佐野市郷土博物館の管理を指定管理者に行わせ、及び所要の規定を整備するための制定】	原案可決	賛成全員
議案第55号	佐野市立美術館条例の改正について 【博物館法の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第56号	佐野市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について 【佐野市予防接種健康被害調査委員会を設置するための制定】	原案可決	賛成全員
議案第57号	小型動力ポンプ付積載車の取得について 【小型動力ポンプ付積載車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第65号	令和4年度佐野市一般会計補正予算(第6号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,120,345千円を追加、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第66号	令和4年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ222,486千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第67号	令和4年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,000千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第68号	令和4年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ301,067千円を追加】	原案可決	賛成全員

	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第69号	令和4年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,912千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第70号	液晶ディスプレイ等の取得について 【佐野市立学校において使用する液晶ディスプレイ等の取得】	原案可決	賛成全員
議案第71号	令和4年度佐野市一般会計補正予算(第7号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ795,781千円を追加】	原案可決	賛成全員



令和4年 12月定例会日程(案)

新型コロナウイルスの感染状況により、日程を変更する場合があります。

令和4年12月定例会の日程は、11月25日(金)の議会運営委員会で内定し、12月2日(金)の本会議で決定します。

11/21日(月)	22日(火)	23日(水・祝)	24日(木)	25日(金)	26日(土)	27日(日)
	請願・陳情 提出期限(17:00)			10:00 議会運営委員会		
28日(月)	29日(火)	30日(水)	12/1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
5日(月)	6日(火)	7日(水)	8日(木)	9日(金)	10日(土)	11日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)	17日(土)	18日(日)
10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会	休会
19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)
10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会し、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

9月
定例会で

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の オリジナルポロシャツを着用しました



色 ネイビー



デザイン

佐野市で開催された
バレーボールとラグビー
フットボール競技をする
さのまる



＜ポロシャツ着用日＞

- 本会議初日・最終日（9月2日、27日）
- 常任委員会（9月13日、14日）
- 決算審査特別委員会（9月16日、20日、21日、22日）

議会では、10月に開催されたいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会をPRするためにオリジナルポロシャツを作成しました。

9月定例会ではオリジナルポロシャツを着用し、大会の開催を盛り上げました。

本会議の初日と最終日には、市長をはじめとする執行部は議員と同じデザインのライトブルーのポロシャツを揃って着用し、各委員会では、執行部はいちご一会国体・とちぎ大会PRポロシャツやPRデザインの入ったポロシャツを着用しました。議会の様子はインターネットにて議会中継でご覧いただけます。



議会での
様子



乳幼児教育に ついての講演会が 開催されました



令和4年9月27日(火)に、乳幼児教育についての講演会が開催されました。

佐野Strong Start研究会より13名の先生方が出席し、「佐野市の教育・保育施設の社会的役割と課題」と題し、幼稚園・認定こども園、私立保育園、小規模保育園、学童保育の観点から4名の方にご講演をいただき、佐野市の乳幼児教育・保育施設を取り巻く現状と課題を知る良い機会となりました。



9月の定例会では、国体・障スポが10月に栃木県で開催されるにあたり、初日と最終日、各常任委員会、決算審査特別委員会でポロシャツを着用して開催されました。

今定例会では、20名が登壇し一般質問が行われ、令和3年度各会計決算の審査では、一般会計に19名、特別会計及び企業会計に16名が登壇し、活発な質疑が行われました。

市民の皆様におかれましては、寒い時期となりますので、体調を崩されませんようご自愛ください。

（木村記）

編集後記



編集委員会
委員長 鈴木 靖宏
委員 慶野 常夫
委員 木村 久雄
委員 横井 帝之
委員 久保 貴洋

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 佐野市議会 議会からこんにちは 2022.11.1 ①⑥

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp